



ここは  
どこでしょう？



答えは 15 ページに

# 議会だより

第48号

## もくじ

12月定例会	10	一般質問	13
条例などの審議結果	10	議員活動報告	14
各会計補正予算	11	編集後記	15
第6回臨時会	12		

令和7年第4回定例会が12月11日に開催され、人事案件1件、条例改正8件、新規条例の制定1件、工事請負変更契約2件、請願1件、その他2件、令和7年度各会計補正予算5件などが提案され、慎重に審議した結果、それぞれ原案どおり決定した。

### ○条例などの審議結果（補正予算を除く）

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
諮問 第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	宮田地区 田浦 浩子氏を選任	賛 成 (全員賛成)
議案 第1号	水上村議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議会議員の報酬及び期末手当に係る支給割合を改正	可 決 (全員賛成)
議案 第2号	水上村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長等の給料及び期末手当に係る支給割合を改正	可 決 (全員賛成)
議案 第3号	水上村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	一般職員の期末勤勉手当に係る支給割合及び給料表を改正	可 決 (全員賛成)
議案 第4号	水上村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	会計年度任用職員の期末勤勉手当に係る支給割合及び給料表を改正	可 決 (全員賛成)
議案 第5号	水上村火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について	上位法（森林法）の改正による条例改正	可 決 (全員賛成)
議案 第6号	水上村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	上位法（子ども・子育て支援法）の改正による条例改正	可 決 (全員賛成)
議案 第7号	水上村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	上位法（児童福祉法）の改正による条例改正	可 決 (全員賛成)
議案 第8号	水上村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	上位法（児童福祉法）の改正による条例改正	可 決 (全員賛成)
議案 第9号	水上村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	水上村乳児等通園支援事業（子ども誰でも通園制度）開始に伴う条例制定	可 決 (全員賛成)
議案 第10号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	交通災害見舞金に関する事務からの脱退（菊池市）	可 決 (全員賛成)
議案 第11号	工事請負変更契約の締結について（林道梅木鶴線災害復旧工事）	林道梅木鶴線災害復旧工事に係る変更契約を締結	可 決 (全員賛成)
議案 第12号	工事請負変更契約の締結について（林道幸野線災害復旧工事）	林道幸野線災害復旧工事に係る変更契約を締結	可 決 (全員賛成)
請願 第1号	人吉球磨准看護学院へのさらなる支援を求める請願について	人吉球磨准看護学院へのさらなる支援を求める請願について趣旨採択	趣旨採択 (全員賛成)
	継続審査申出書		可 決 (全員賛成)

## ○各会計補正予算

### 令和7年度水上村一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算の総額に3億6,580万円を追加し、総額を**65億6,100万円**とするもの。ガバメントクラウド利用料1,050万円、ふるさと応援基金積立金(企業版)180万円、陸上競技場造成工事3億円、水上村観光振興助成金350万円、村道宮原神揚線道路舗装工事400万円などが追加計上された。

### 令和7年度水上村国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に4万9千円を追加し、総額を**2億8,389万3千円**とするもの。

### 令和7年度水上村介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に2,295万9千円を追加し、総額を**4億6,038万4千円**とするもの。居宅介護サービス給付費負担金2,000万円などが追加計上された。

### 令和7年度水上村簡易水道事業会計補正予算(第2号)

収益的支出の予算額の総額に55万7千円を追加し、収益的収入の総額を**7,352万1千円**、収益的支出の総額を**5億1,634万1千円**とするもの。

### 令和7年度水上村下水道事業会計補正予算(第1号)

収益的収入及び支出の予算額の総額に250万3千円を追加し、総額を**1億365万9千円**とするもの。

いずれも審議の結果、原案のとおり決定した。

## 球磨郡町村議会議長会自治功労者表彰受賞

議会副議長 **やまさき たかひろ**  
**山崎 隆浩 氏**  
議会議員 **すぎの ひさし**  
**杉野 久志 氏**

本村議会議員の山崎隆浩氏と杉野久志氏が、球磨郡町村議会議長会自治功労者表彰を受賞され、10月7日に伝達が行われました。

両議員におかれましては、平成27年5月から10年間にわたり、本村行政の発展のため多大なるご尽力をいただいております。この度の功績に敬意と感謝を申し上げますとともに、お二方の今後益々のご活躍を心より祈念いたします。



杉野久志議員



山崎隆浩副議長

# 第 6 回 臨 時 会

令和7年第6回臨時会が12月17日(水)に開催され、慎重に審議した結果、それぞれ原案どおり決定した。

## ○条例などの審議結果

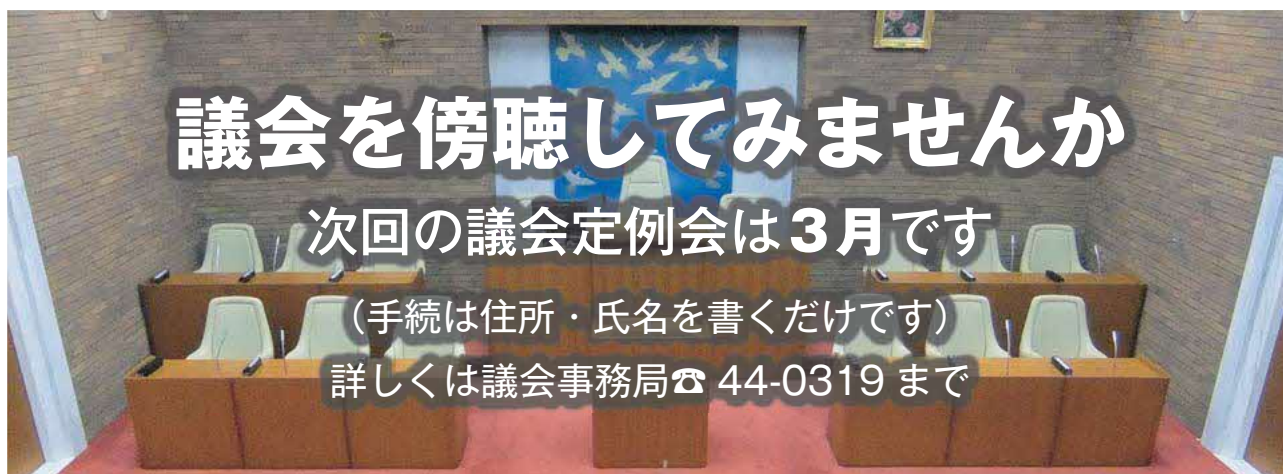
議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
議案第1号	工事請負変更契約の締結について(水上村陸上競技場用地造成工事(1工区))	水上村陸上競技場用地造成工事(1工区)に係る変更契約を締結	可 決 (全員賛成)
議案第2号	工事請負変更契約の締結について(水上村陸上競技場用地造成工事(2工区))	水上村陸上競技場用地造成工事(2工区)に係る変更契約を締結	可 決 (全員賛成)
議案第3号	工事請負変更契約の締結について(水上村陸上競技場用地造成工事(3工区))	水上村陸上競技場用地造成工事(3工区)に係る変更契約を締結	可 決 (全員賛成)
	継続審査申出書について		可 決 (全員賛成)

## 令和7年度水上村一般会計 補正予算(第6号)

歳入歳出予算の総額に6,855万9千円を追加し、総額を**66億2,955万9千円**とするもの。物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等を活用し、水上村経済回復活性化事業(みずかみ生活応援券)4,688万円、物価高対応子育て応援手当支給事業660万円、公営企業会計繰出金(簡易水道基本料金負担軽減対策事業)1,100万円、球磨焼酎文化継続おうえん給付金400万円などが追加計上された。

## 令和7年度水上村簡易水道事業 会計補正予算(第3号)

収益的収入の予算額のうち営業収益を280万円減額し、営業外収益を280万円追加するもの。(簡易水道基本料金負担軽減対策事業)



# 村の現状！今後の見通しは！！

## 一般質問



小川 恵 議員

### Q. 高齢化の進展を見据えた 高齢者福祉の方向性は

### A. 安心して暮らせる 地域づくりを進める

**問** 2025年以降のさらなる高齢化に伴う医療・介護需要の見込みと、地域包括ケア体制（注）の強化に向けた今後の具体的な取り組みは。

**答** 団塊の世代が75歳以上となることで独居や認知症の高齢者が増加すると見込まれる。年齢とともに上昇する介護認定率に対応するために、今後は行政だけでなく介護事業所との連携強化が必要。

医療・介護の情報共有ツール導入に向けた協議を進めつつ、地域包括支援センターを中心に医師会・民生委員と連携した支援体制の強化。介護予防サポーターの養成や移住者受け入れなど多様な人材確保を進め、誰もが参加しやすい環境づくりを推進する。

**問** 介護予防教室や通いの場への男性高齢者参加促進のための取り組みは。

**答** 男性の参加を促すために、男性を中心とした交流の場を湯山、岩野地区に開設した。全国では、男性の関心に合った活動や役割づくりが効果を上げている。本村でも男性スタッフ配置や地域人材活用を考えた。



男性料理教室の様子

**問** 今後の介護予防事業の方向性と、持続可能な財源確保の考え方は。

**答** 山間部では身近な場所で開催できる環境整備が重要。社協・民生委員と連携し、交通弱者支援や地域サポーター養成を進め、地区ぐるみで取り組む。財源は国・県の交付金を活用し、一般財源やふるさと納税を組み合わせ、保険料への影響を抑えつつ確保する。

**問** 加齢性難聴が孤立や認知症リスクにつながることを踏まえ、補聴器活用を介護予防としてどう位置づけるのか。また購入費補助制度を検討する考えは。

**答** 難聴が認知症リスクを高めるという認識のもと、補聴器活用は予防や社会参加に極めて重要。現在の限定的な助成を、一般の高齢者にも前向きに検討する。

**問** 地域包括ケアや介護予防の成果がある一方、独居・認知症高齢者の増加、人的支援の限界が課題。住民主体で男女が支え合い、安心して暮らせる未来について、村長はどう考えるか。

**答** 平成27年度からの介護予防の取り組みは、10年を経て参加者の高齢化やマンネリ化が課題。今後は熊本保健科学大学との包括連携で事業を常に改善・深化させながら、旧湯山小を健康施設として改築し、送迎支援の充実など参加しやすい環境を整える。

さらに年60回のタクシー助成など独自の移動支援を継続することで、高齢者が安心して外出できる環境づくりを進める。

**注** 地域包括ケア体制  
高齢者が住み慣れた地域で、最期まで自分らしく暮らし続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する仕組み

# 住民のための視点を忘れてはならない

## 議会と行政が広い視野から政策を検討

10月9日(木)、熊本県町村議会議員研修会がオンライン形式で開催された。

一般質問は、行政運営全般にわたり行うことができるという意味でも大切であり、条例や予算等の審議と同等に価値がある。講師の田中氏からは、一般質問に関する留意点として、それが議会と行政の勝ち負けを決する場ではないこと、住民のための視点を忘れてはならないこと、また効果的な質問にするための工夫やチェックポイントなどについて詳しく説明いただいた。

地域課題について、議会と行政が広い視野から政策を検討するためにも、一般質問は簡明で、しかも内容のある次元の高い質問を展開したいと改めて認識した研修となった。

演題 「これからの一般質問の在り方」

講師 元・大和大学政治経済学部教授 たなか とみお 田中 富雄 氏



## 議会広報に創意工夫を

### 「議会活動と広報はリンク」

11月7日(金)、熊本県町村議会議長会による「令和7年度町村議会広報研修会」が熊本県市町村自治会館で開催され、本村議会から4名が参加した。

当日発表された南阿蘇村、錦町、五木村の議会だよりを、各町村広報委員による事前アンケートをもとに意見交換会が行われた。改善のための意見交換とあって、苦労と創意工夫がうかがえ、本村の議会だよりを活かすためにはどうすべきか、意義深い研修となった。



演題 「広報から議会が透ける」～事務局パネル & 反転型クリニック～

講師 議会広報ファシリテーター・熊本学園大学しょうへい招聘教授 こえじ しんいちろう 越地 信一郎 氏

広報特別委員会

委員長 荒嶽 晋 副委員長 山崎 隆浩  
委員 小川 恵 委員 杉野 貴文

